

「ヘルシンキへの航空路」

冬の北極圏への旅行に出発しました。わざわざ寒い土地に、しかも真冬に行くのには、理由があります。今回は、オーロラ生中継カメラのメンテナンス（機材更新）と、スウェーデンの友人訪問、それに北極圏の急行列車に乗る・・・などの目的です。



今回の旅行は、こんな場所に行く予定です。一番楽しみなのは、ポルユスとイェリバーレの友人訪問、それに、ノルウェーまでの国際急行列車に乗ることです。



「成田空港の JAL413 便」 最新鋭のボーイング 787 型機で、客室も非常に快適です。

今回もヘルシンキ経由の日本航空を選びました。ヘルシンキは地理的に、ロシアを除けば、欧州直行便のある都市では、日本から最短距離にあります。このフライトも9時間30分程度で到着すると、アナウンスがありました。

欧州線には何度も搭乗しましたが、周囲を見ると、ほとんどの人は寝ています。私は9時間、ほとんどぶっ続けで仕事をしています。今までは、パソコンの電源とインターネットがないことが問題だったのですが、今はちがいます。どちらもOKです。



その名も” JAL SKY Wi-Fi” 機内で無線 LAN が使用可能なサービスです。もちろんいくらか費用がかかりますが、機内で衛星経由のインターネットが可能なのですから、9時間ずっと使っていました。電源も各座席の足元にあつて、電池切れの心配もありません。



「機内の仕事場」 飲み物もコール一つで持ってきてくれるので、自宅よりも快適に仕事ができます。

シベリア上空で、水彩画を配信したり、フェイスブックやメールで知人とつながっていることは、よく考えたら、ものすごいことですね。

さて、退屈な機内での楽しみといえば、食事（機内食）でしょう。成田～ヘルシンキ間には、私が乗った機のすぐ後ろに、フィンランド航空の便も飛んでいるのですが、日本航空の機内食のほうが私の口には合っています。正月に搭乗すると、ちょっとしたおせち料理も出のですが、今日は・・・



「今日の機内食」メインは「肉じゃが」と「ロールキャベツ」でした。小鉢やサラダも充実していて、大変おいしくいただきました。

機内のインターネットで、自分の乗っている飛行機がどのあたりを飛んでいるのかを、調べてみました。

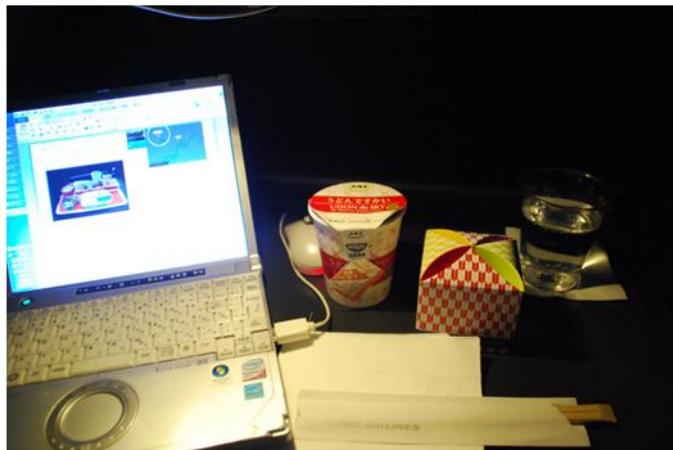


友人がスマホのアプリで調べて、メールで機の現在位置を教えてくれたのです。このサービスは有料なのですが、しばらく無料で試せます。さっそく機内から

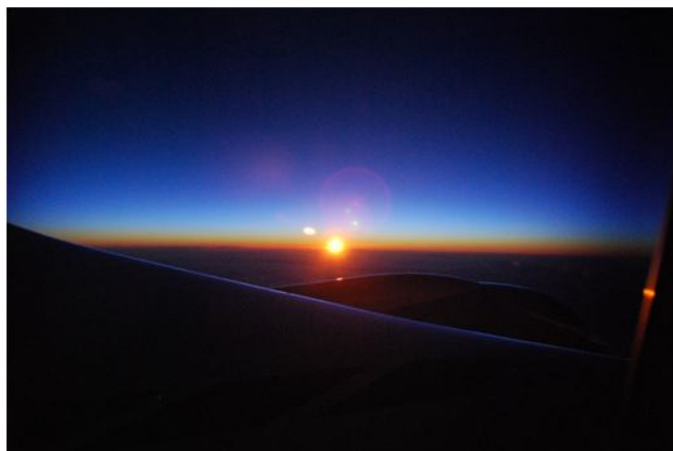
アクセスしてみました。



画面上に、機の現在位置が非常に詳しく表示されました。機内のモニターのものとはほぼ一致していましたが、こちらのほうがより詳しい位置がわかります。機の高度、対地速度、機種の特徴なども表示可能です。パイロットになった気分でした。画像は「ロシアのセレムジャ川（アムール川の支流）」を通過したところ。



仕事をしていると、「うどんですかい」とケーキを持ってきてくれました。すばらしいサービス。



機は、シベリアの北極圏をかすめて西へ進んでいます。左側（南側）には、機に追いかけるように、太陽がなかなか沈みません。地球を旅行している・・・と思える、美しい光景でした。